

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和元年度第2回加東市文化財保護審議会
開催日時	2020(令和2)年3月14日(土) 午前10時から午前12時まで 新型コロナウイルス感染拡大防止のため当日の審議会は中止。 後日、各委員に資料を送付し、意見を聴取した。
開催場所	加東市社公民館2階視聴覚室(加東市木梨1134-60)
出席及び欠席委員の氏名	無し
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	無し
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	1 会議内容 (1) 令和元年度加東市文化財事業報告 (2) 令和2年度加東市文化財事業(案)について その他

令和2年5月8日

会 長 瀧原 務

(別紙)

令和元年度第2回加東市文化財保護審議会 会議の経過

意見・回答者	会議の経過／意見・回答内容
	<p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため当日の審議会は中止。 後日、各委員に資料を送付し、意見を聴取した。</p>
	<p>意見・回答内容 (1) 令和元年度加東市文化財事業報告</p>
会長 事務局	<p>各事業の決算額はいくらとなっているのか。 ※各事業の決算額について、後日、口頭にて回答。</p>
会長	<p>上鴨川住吉神社割拝殿保存修理事業の現地説明会や、令和元年度加東市文化財企画展といった各種普及啓発事業を実施しているが、これらの広報についてはどのような手段を講じているのか。</p>
事務局	<p>保存修理事業の現地説明会については、市ホームページや広報かとう及びケーブルテレビ文字放送といった市関係の媒体で案内を掲示したほか、各新聞社に情報提供をおこない、案内記事を掲載していただいた。加東市文化財企画展については、上記の内容同様の広報を行ったほか、案内用のチラシを作成し、県内の各自治体及び関係施設に配布し、掲示依頼をおこなった。</p>
委員	<p>上鴨川住吉神社について、本殿・舞殿に続いて割拝殿も順次整備がなされてきて嬉しく思う。神事舞を行う神苑として、懸案が解決していく姿を見ることは氏子の皆さんにとっても励みに感じていただけるのではないかと思う。さて、藁（萱）屋根の建物に関してだが、近年、市内に所在する民家や文化財の藁屋根葺き替えについて、それぞれ葺き肌の乱れや、藁（萱）の抜けが早くなってきたように感じます。十分な材料の調達など側面からの援助が必要かもしれないが何か考えはあるか。</p>
事務局	<p>屋根改修に係る材料費の高騰については、事務局としても把握しており、全国各地の生産者の後継者不足が影響しているものと考えている。市内では、文化財建造物に使用できる良質な屋根材は生産されていないため、材料調達に関して、事務局として具体的な援助を行うことは現時点では困難であると考えている。</p> <p>その上で、指定文化財となっている物件については、従来通り、普段から担当者の見回りを実施した上で、改修が必要なものについては事前に所有者と相談を行い、自治体からの補助について十分周知した上で事業を検討していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>未指定の民家等の物件については、現状、屋根の構造や材質等を逐一把握はしていないが、改修に関して所有者からの相談があれば、専門業者の紹介等を行っており、ある程度年数が経過した物件については、国の登録文化財制度の活用等を斡旋していくことも考えている。</p>
委員	<p>近年、薪を必要としない時代となり、寺社の境内や里山における樹木の管理が困難となってきている。先年、朝光寺でも実施されていたが、そうした樹木が文化財に悪影響を及ぼさないよう、予防的な点検や定期的な枝払いが必要ではないかと思うが。</p>
事務局	<p>指摘いただいた通り、樹木の繁茂による影響が近年増加しているように思う。令和元年度も厚利山王神社（市指定文化財）に隣接する神木の枝払いを実施した。予防的な点検としては、普段からの担当者の見回りを</p>

委員	実施しており、その上で、危険木が発生している場合においては、所有者と相談した上で、事業費が高額となる場合等において、指定文化財管理事業として補助を行っていく予定である。
事務局	加東市文化財企画展について、充実した解説が行われており、地域に残された豊富な資料群の存在に感動させられた。今後もこのような企画展を実施できるようお願いしたい。 承知しました。
	(2) 令和2年度加東市文化財事業(案)について
会長	各事業の予算額について教えてほしい。
事務局	※各事業の予算額について、後日、口頭にて回答。
会長	旧滝野庁舎埋蔵文化財出土品移転業務について、移転先や移転時期はどうなっているのか。
事務局	関係部署との調整がまだのため、具体的な時期は現時点では示せないが、旧滝野庁舎利活用のための改修工事の関係で令和2年度上半期の移転を予定している。移転先については、出土品の大半は滝野庁舎敷地内の別の場所にスペースを設けて、そちらに移転する。一部そちらに入りにくい出土品や、出土品以外の什器・備品類については、旧福田幼稚園施設内に移転する。
委員	貴重な出土品の移転に際しては、安定した保管場所を確保して、保管と移転作業の両方が安全に行われるよう配慮していただきたい。
事務局	承知しました。出土品の大半は旧庁舎敷地内に安置することから、貴重な資料群については、担当部署の事務所とできるだけ近接した場所で管理できるよう調整していきたいと考えている。
委員	令和2年度の加東市文化財企画展について、栄枝地区の禅瀧寺をテーマにするとのことだが、寺所蔵の文化財だけではなく、寺の歴史(昔の住職で学僧であった瀧見常老師や、彼がおこした学問所である播磨中学林について等)についてもできる範囲で調査し紹介していただきたい。
事務局	承知しました。
	○その他
会長	加東市の文化財事業をより充実させていくために、専門職員を1名程度増員していただきたいが、その予定はないか。
事務局	現時点での予定はない。今後、事業量との調整の上、必要があれば市長部局に要望していきたい。
会長	小中学校生及び高校生を対象に文化財講座を開く等して、子供たちに市内にある貴重な文化財があることやその重要性を知らせていただきたい。
事務局	現状では、年齢層を限定していない資料館講座を利用していただきたいと考えている。参加人数もある程度限定しているので、低年齢の参加者にも個別の対応が可能のためである。その上で、生涯学習係や公民館主催の子供向けの教室事業とコラボした事業ができないか検討していきたい。